

障害者就業支援シンポジウム～採用と定着の工夫～

社会福祉法人 明光会 障害者就業支援シンポジウム実行委員会
〒421-1211 静岡県静岡市葵区慈悲尾 180

助成事業の概要

令和3年3月に障害者の法定雇用率が引き上げられることとなっている。(2.2%から2.3%へ)これによって大企業はもちろん、従来は雇用率の対象となっていなかった小規模企業にも雇用義務が生じることとなるので障害者の採用には関心が集まりその動きには拍車がかかるものと思われる。

一方、雇用率の計算では毎年6月1日時点でどれだけの障害者を雇用しているかが重要である。

いくら採用しても定着できなければ雇用率はなかなか上がらない。この「定着」が難しいのである。今回のシンポジウムではこの「採用」と「定着」に視点を当て良い成果を出している事業所の取り組みを紹介するとともに地元の企業や支援機関を交えこの問題についての意見交換をする。

コロナ禍で開催をするか検討していたがメイン会場とZOOMによるオンライン参加の2本立てで行うことになった。時期は1月27日とした。主催者としてはオンライン開催は初めての経験であり準備や運営で不慣れな点があった。

事業の成果

第1部の事例報告では埼玉県桶川市にあるコカ・コーラボトラーズジャパンベネフィット(株)の長島様より障害者採用の方法や事例の紹介があった。ここは特例子会社として運営をしており都会地ならではの苦労もあることがわかった。特に採用担当者自ら近隣の「就労移行支援事業所」に出向き

採用候補者を探すことをしていることには驚いた。静岡地区ではこのような動きはまずない。意外だったのは社員が知的障害者だけということ。精神障害の方の採用が中心と思っていた。また特別支援学校の新卒者がいないことも意外な点であった。今後の課題だという。同じコカ・コーラボトラーズでも静岡にある事業所では特例子会社ではなく採用の方法も障害者就業・生活支援センターが企業と就労支援機関の間を取り持つ形を取っている。またジョブコーチを入社後集中的に利用することで定着率を高めていることの報告があり障害者就業・生活支援センターやジョブコーチの利用について理解が深まった。

今回は主催者である当法人の採用や定着の取り組みについても紹介させていただいた。

障害者の特性に合わせた多様な職場の提供や十分な訓練を積んだ人を採用するための「就労移行支援事業所」との連携はどの企業でも可能な取り組み方法である。

参加していただいた企業からは「精神障害者ばかり採用しているので知的障害者の採用は躊躇する」「知的障害者だがラインに入り問題なく仕事ができている」といった意見も出された。

障害者の採用は様々なルートで行われているが安定した採用と定着の効果が大きいのは「就労支援機関」の活用である。採用においては「就労移行支援事業所」、定着においては「障害者就業・生活支援センター」の活用がカギとなるとの認識が深まったものと思う。これは埼玉県、静岡県という産業構造や人口も違う地域にも関わらず共通の考えであった。もう1つは企業と就労支援機関を

つなぐ存在があるということ。埼玉県ではこれを県の事業として取り組んでいる。静岡県でもオールしずおかベストコミュニティのコーディネーターが活動している。

■ 成果の広報・公表

今回はオンラインとの併用で開催したため当日の報道機関の取材はなかった。シンポジウム終了後にあらためて各報道機関にシンポジウム開催の様子をお知らせしたところ中日新聞社より取材したいとの話があり 2 月 3 日に取材にお見えになった。シンポジウムの当日配布資料を提供し当日の様子をお話した。2 月 18 日付け朝刊に記事が掲載された。静岡版であるが県下全域に配信されている。

このほかオールしずおかベストコミュニティのホームページで紹介されている。

当法人のホームページでも更新に合わせてシンポジウムの成果を公表するほか支援センターさつきの広報誌にも掲載する予定である。この広報誌はインターネットでも閲覧でき、また行政機関窓口や関係機関、企業にも配布しているので多くの県民に知って貰えるものと思う。

なお報告をしていただいたコカ・コーラボトラーズジャパンベネフィット(株)とコカ・コーラボトラーズジャパン(株)静岡事業所では障害者雇用についての社内研修にこのシンポジウムを活用していただくことになり当日の録画データを提供している。

■ 今後の展開

静岡市では令和 3 年度から自立支援協議会就労支援部会が中心となり企業と就労移行支援事業所をつなぐ「就フェス」を市の事業として開催することになっている。この就フェスは令和元年度の日

社済助成事業として開催しているが今回のシンポジウムでも企業と就労移行支援事業所のつながりが採用と定着の要であることが確認できた。今後この取り組みは継続して行われるものと思う。

静岡市の就労移行支援事業所間では「就労移行支援事業所連絡会」を昨年立ち上げたところで今後の「就フェス」はここを中心に行っていくようになる。

就フェスに多くの企業が参加してくれるようになれば今回のシンポジウムで紹介されたような採用や定着の取り組みが地域に広がっていくと思う。

ゆくゆくは静岡圏域において企業と就労移行支援事業所とのつながりをベースに企業の求人と就労移行支援事業所の求職者を直接結び付ける機会を作るようにしたい。今回のシンポジウムはその重要性、必要性を示す結果となったと考えている。